

座談会

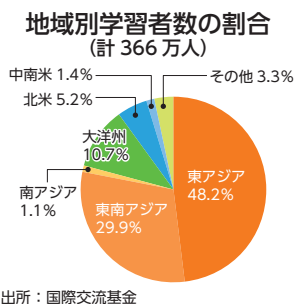
やさしい日本語とは

日本語学習者とスムーズにコミュニケーションをとるコツとは。
日本語教育の専門家の皆さんに聞いた。



タイの高校で使われている日本語教科書

海外の日本語学習者は2015年時点で365万人。このうちアジアの学習者が8割近くを占める(図表)。2000年代以降、インドネシアやタイ、ベトナムといった東南アジアの人口規模の大きい国で、日本語を中等教育課程で学ぶ学習者が増えている。



国際交流基金がアジアの中学・高校などに派遣している「日本語パートナーズ」は、現地の日本語教師のアシスタントとして授業をサポートする他、日本文化の紹介を通じて、派遣先の生徒や地域の人たちと交流を行う。14年からの5年間でASEAN10カ国と中国、台湾に合計1860人が派遣された。

日本語パートナーズに選ばれた人たちは、派遣先の言語、現地事情、日本語教育など4週間の派遣前研修を受ける。

——今日は派遣前研修で日本語教育の講座を担当している皆さんにお集まりいただきました。

登里 日本語パートナーズには、まず派遣先の学校事情を知ってもらう必要があります。どんな生徒がいて日本語がどれくらいできるか、

先生たちはどんな教え方をしているのか。まずは相手をよく知ることが、円滑なコミュニケーションへの第一歩です。

中込 事前になるべく分かりやすい日本語で自

己紹介をつくってきてもらっています。研修では最初に現地での授業風景のビデオを見せ、生



中込さん

徒たちの日本語のレベルを知ってもらう。すると、日本語パートナーズの皆さんは、用意してきた自己紹介をさらに分かりやすく書き直さざるを得なくなるんです。

阿部 教える力も国によってまちまちです。日本語は文字を習うだけでもひと苦労ですから。中国など同じ漢字圏

の人たちは、字体や意味が若干違っていても、漢字に抵抗はないし習得も早いですね。それでも、日本語には漢字だけでなく、ひらがな、



登里さん



阿部さん